

第14回 ジュニア俳句大会 入賞作品集

大会賞

びっくらだ セミのぬけがら うじいでる

井口小学校 二年 青木 美晴

あおき みはる

■評 拔け殻にも命を感じてびっくらしたんだね

じいじのて にぎつてつけた はなびかな

羽沢小学校 一年 萩田 美栄

おぎた みはる

■評 小さい子の不安な気持ちがよく伝わってくる

ひまわりは 地面ではじける 花火だよ

第一小学校 四年 菅原 彩華

すがわら あやか

■評 ひまわりを「地面ではじける花火」としたのがとてもよい

優秀賞

透け通の 風の涼しさ 心太

第三小学校 五年 松尾 彩弓

波じゃなく 電車に揺られ 夏期講習

第六小学校 六年 小澤 一樹

透け通の 風の涼しさ 心太

評 めかうのよこ風と心太のじうあわせがとてもよこ

評 夏休みも切つ上げ、けんめいに勉強する姿が見えていい

手と手と手 つないで祈る 終戦日

第五小学校 五年 野中 友善

揺り上げて 氷がかなでる 麦茶の香

第五小学校 六年 中島 茉莉花

評 平和をもとめる人たちの気持ちがよこゆかる

評 氷のカラーンといつ音と麦茶の香りが漂つていい

めうしおへ中 ひつじにしあわで 伝説する

高丘小学校 三年 國井 瑛美

朝顔は 光ほして ひののばす

第五小学校 三年 野中 あいか

評 給食中おしゃべりはダメ。そのようすがよくわかる

評 光を求めるのは朝顔も人間も同じ。つるに生命力を感じる

めうしおへ 中 ひつじにしあわで 伝説する

第一小学校 一年 前島 一花

評 本当に今年の夏は暑かった。「ざらざらする」で暑さがよくわかる